

地域理解と障害者自立を高めるための勉強会

NPO法人 ソラマ

〒157-0076 東京都世田谷区岡本2-35-1-203

助成事業の概要

目標とするグループホーム設立に至るまでの課程を描いたドキュメンタリー映画「普通に生きる」を鑑賞し、現在の我が家の状況を的確に把握しつつ参加者それぞれの「ふつうに生きる」ことの意味を探る。また地域に医療的ケアが必要な人々の「普通に生きる」ことへの理解と協力につなげ、勉強会を通して私たちが将来をどう描くか普通に生きるために必要なものは何か、社会で生きるために必要なことは何かをそれぞれの立場から考える。また、親なき後に安心して社会生活を送るために必要な想い、考えを共有し障害を持ちながら、これからの生活を安心して過ごせるために、いま何が必要なのかを一緒に考える勉強会です。

会場：砧総合支所区民集会所

1回目 7月23日（日）10：00～12：00

「普通ってなんだろう～自分や家族の普通を知る」

2回目 9月 3日（日）10：00～12：00

「普通であるために必要なもの～普通を実現するための構成要素」

3回目11月13日（日）10：00～12：00

「普通であり続けるために～周囲の理解や社会資源の活用」

事業の成果

当法人では、医療的ケアができる重度障害者のためのグループホームを自分たちが住む地域につ

くるのを目的としているため、今回の映画鑑賞会では、「どんな重い障害をもっていても本人もその家族も普通に生きていける社会を目指す。」親たちの熱い思いから設立した重度身体障害者施設「でら～と」の5年間を知ることで、同じ思いの方々や地域の方が、重度身体障害者、医療的ケアが必要な人々やその家族の想いを理解していただく良い機会となった。また設立者、製作者の講演を行って頂いたことで、当事者へのイメージが湧き、共感的理解を深める事ができた。

さらに、講師をお招きして開催した三回の勉強会は、様々な障がいを持つ方のご家族と「普通に生きる」ことにおける重要なポイントを共有することができた。

参加した方々からは、内容がとても分かりやすかったという意見や、他の発達障がいを持つ方の視点からお話を聞く事で、その人の気持ちに寄り添った見方ができたという意見も寄せられた。今回の勉強会は、経験の浅い支援者や家族のみではなく、これまで障がい者（児）に関わることもなかった方々にとっても、社会のあり方を見つめ直し、更に理解を深めていくための良い機会となった。

成果の広報・公表

広報・公表については、当事業所が不定期に発行している広報紙「ソラマ」の最新号に映画鑑賞会の報告記事を掲載し、会員宛に配布した（平成29年9月発行）。その他、12月に行われた「世田谷まつり」にて訪れた方々に配布した。（約150

部) また、勉強会の報告については次回号に掲載予定（平成30年春頃）。本講演会について広く知って頂く機会としたい。映画上映会終了後に行ったアンケート結果については、当事業者で取りまとめ、いつでも職員が見られるよう保管し、今後の上映会の参考としていく。

■ 今後の展開

NPO法人ソラマでは、支援員や保護者、医療関係者、学校関係者や一般の方々を対象に、これまで5回の公開講演会を開催し、医療的ケアや障害者に対する理解を深めてきた。しかし、まだまだ障がいについての理解や支援、親なき後についてなどを学ぶ機会というものは少なく、現状を把握する事が難しい所にあると言える。そのため、来年度以降も上映会や勉強会を継続していくことで、医療的ケアが必要な障害者や生活について理解を深める機会を確保していきたいと考えている。

聴講者からのアンケート結果などを踏まえ、医療的ケアが必要な障害者への関わり方の具体例、失敗例、環境作りの方法、どうすれば地域で生きやすくなるのか、理解できるのか等といった点を含め、理論だけではなく実践的な部分も取り入れた活動にしていきたい。また、アンケートの中には、医療的ケアのできるグループホームの現状と課題は何なのか、現状からどう対応していくのかといった内容を知りたいとの声も寄せられていたため、今後は、さらに保護者や地域の方々も含め、医療的ケアの支援に関わる全ての人達と共通した理解を得られるような機会としていきたいと考えている。